



# ミス日本ニュース6月号

ミス日本コンテスト事務局 毎月1回配信  
公式WEB⇒ <http://www.missnippon.jp>

# 50<sup>th</sup>

MISS NIPPON



Japan.  
Committed  
to SDGs

## 国内外の重要な場面で活躍するミス日本



21,22日 **香港ジュエリー&ジエムフェア**にて、日本が誇る真珠を**アピール**するミス日本グランプリの市橋。堂々としたドレス姿に、真珠の王冠とネックレスが輝きを放ちます。広い展示会場を練り歩くと、多くの海外の方々の目にとまり、真珠の輝きと共に印象付けました。

12日 **フランスの大使公邸にて開催されたレセプションパーティー**に振袖姿で登場した準ミス日本の霜野莉沙。与えられた役割は大阪の魅力と日本の若者の元気をお伝えすること。6ヶ国語を操る語学力を存分に活かして、来場した各国の重要な出席者の方々と交流を楽しみながら役割を果たしました。

9,10日 **天皇皇后両陛下による最後の全国植樹祭ふくしま2018**に、新旧ミス日本みどりの女神ペアで登場。植樹式典では陛下がお手植えされるご様子をしっかりと目に焼き付けました。会場では緑の募金の呼びかけを行い、記念の植樹なども。元気な福島を印象付ける数々の出し物に勇気を貰いました。

## 第51回2019大会、応募締め切り間近！

来年1月に開催される2019大会の**応募は7月15日**までとなります！今年も昨年以上の**成長と経験機会**を用意しております。是非ご応募orご紹介ください！応募はWEBからです。ミス日本で検索！



6日 日本最大の旅行博「ツーリズムEXPOジャパン」の記者発表会にて広報アンバサダーに就任したみどりの女神竹川。竹川は将来観光業界を目指しており、夢のような大役。「旅は私を主人公にしてくれる」と話し、9月開催に向けてPRしていきます。



25日 女子プロ野球リーグ始球式にて今回もI字投法を披露する市橋。見事ノーバウンドでミットに収まり、4回目の始球式もばっちりでした！



2日 佐賀市水道フェアにてプロジェクトWETの教育資格を活かして子どもゲーム大会を企画・実演。浦底の明るくバリアのないキャラクターが存分に光り、こどもたちの笑顔に溢れた時間を創出！



25日 チェーンソー特別講習。安全を学ぶことで、現場目線に迫る。

3日 グリーンウェイブ古河での植樹。

8日 北海道の建設現場撮影。地下世界で働く作業員さんの姿を知る。



6日 日本CLT協会に新旧みどりの女神

6日 日本洗浄技能開発協会で司会

7日 EPR工法協会



13日 日本グラウンドマンホール工業会

19日 GK下水道広報プラットホーム講演者はミス日本事務局長和田健太郎

29日 日本下水道協会



21日 9月にパリ・ユネスコ公演する美Japonの、日本プレ公演。ミス着物の岡部七子、水の天使の浦底里沙、17海の日の三上優が着物をリメイクした衣装に身を包み、ファッションショーに出演しました。



4日 海上保安庁70周年記念式典。天皇陛下もご臨席され、盛大な会となりました。



山岳フリーペーパー「山歩みち」今年も全国の山岳ショップに置かれます。表紙や中身のモデルは17みどりの野中葵さん。



14日 京都おもてなし観光大使として17GP高田紫帆さんが日本生命の会合に登場。

## ★6月の活動★

- 2日 佐賀市上下水道フェア2018 講演/浦底
- 3日 グリーンウェイブ古河 稲庭の森 記念植樹/竹川
- 4日 海上保安庁70周年記念式典 出席/山田
- 6日 ツーリズムEXPOジャパン 記者会見  
広報アンバサダー就任 /竹川  
日本洗浄技能開発協会 定時社員総会講演会 司会/浦底  
日本CLT協会 総会懇親会司会 /17野中葵
- 7日 EPR工法協会 定時総会懇親会 司会/浦底
- 8日 北海道建青会 全道大会用P R 動画撮影in北海道 /浦底
- 9,10日 第69回 全国植樹祭ふくしま2018 出席/竹川,17野中葵
- 12日 **パリ 駐仏大使公邸でのレセプション出席/霜野**
- 13日 日本グラウンドマンホール工業会 懇親会 司会/浦底
- 14日 京都おもてなし観光大使  
日本生命感謝の集いゲスト/17高田紫帆
- 19日 GKP下水道広報プラットフォーム 総会司会/浦底
- 21日 美JAPON 「Beyond kimono -はごろも」  
ファッションショー出演 /浦底,岡部,17三上優
- 21,22日 **香港ジュエリー&ジェムフェア 日本ブース/市橋**
- 25日 女子プロ野球ヴィクトリアシリーズ  
愛知ディオーネVS京都フローラ 始球式登板/市橋礼衣
- 25-27日 チェンソー特別講習 受講/竹川
- 29日 日本下水道協会 定時総会・意見交換会 司会/浦底
- 30日 みなかみ町谷川岳エコツアーカーニバル  
ゲストハイカー/浦底  
Japan-YWP 第1回[水×SDGs]勉強会 出席/市橋,山田

6月下旬より

- 7月2日谷川岳の日 ポスター/17野中
- 山岳フリーペーパー「山歩みち」谷川岳特集号 表紙/17野中  
(群馬県+山岳関連ショップ他掲示)
- 海技資格協力センター 更新呼びかけポスター/山田
- 海技資格協力センター ライフジャケット着用ポスター/山田  
(全国の船舶・海洋関連施設)

## ★7月の予定(調整中や予定含む)★

- 3日 日本水道運営管理協会 定時社員総会意見交換会 司会/浦底
- 4日 運輸振興協会 運輸懇談会 出席/山田
- 6日 東京下水道サービス TGS連絡協議会 司会/浦底
- 7日 2018あきた水と緑の森林祭り/竹川
- 8日 世界自然遺産白神山地 プナの学校 東京校 司会/竹川
- 9日 日本水難救済会 青い羽根募金PR/山田
- 10日 8月1日水の日PR メディアキャラバン/浦底
- 16日 海と日本プロジェクト 式典出席&演奏会歌唱披露山田
- 19日 海フェスタにいがた 記念式典出席 /山田
- 20日 新潟開港150周年 記念イベント出演 /山田
- 21日 IBF国際美容連盟・ミス日本コラボセミナー  
Motoko Asian Beauty workshop セミナーモデル/市橋
- 23日 北九州市下水道100周年記念式典・講演会 司会/浦底
- 24日 海事関係功労者表彰記念パーティー /山田
- 24-27日 下水道、くらしを支え、未来を拓く  
下水道展'18北九州 出演/浦底
- 25日 下水道国際シンポジウムin北九州 日本語司会/浦底
- 27日 全国海洋・水産高等学校カッターレース大会 表彰式/山田
- 28日 第63回一宮七夕まつり 特別ゲスト/市橋
- 7月下旬より  
海上保安庁 海の事故ゼロキャンペーンポスター /山田  
(全国の海洋関連施設+都内地下鉄全駅)  
国土交通省 8月1日水の日PRポスター /浦底  
(全国の水関連施設 + 都内主要駅構内)



## OGの履歴書 池永由宇さん

2009年度ミス日本「海の日」受賞 熊本県熊本市出身。  
受賞当時は20歳で文学部の大学2年生でした。

ミス日本の活動を経て、現在は広告代理店に就職。チーフ・メディア・プランナーとして主にメディアを担当し、勤続8年目。茶道暦12年、華道暦12年。

---応募の動機を教えてください。

幼少時代より、祖母・母の影響で茶道や生け花が身近にある生活でした。自らも茶道と華道を経験し、素晴らしいこの日本文化を世の中に発信するような活動がしたいと思ったのが、応募したきっかけです。

---当時のことを教えてください。

ミス日本に選ばれた当時は、横浜と札幌が開港150周年の記念の年でした。それぞれの港で島国日本、海の素晴らしさ、開港の歴史などについてPRする活動を行いました。特に横浜は開港150周年を記念した「開港博Y150」で盛り上がり、私は秋篠宮同妃両殿下のアテンドをするなど貴重な経験をさせていただきました。

思い出に残っている活動は「海上保安庁観閲式」です。麻生太郎首相（当時）に海難救助のシンボルである青い羽根をおとりつけ致しました。

その後も官邸で麻生首相にお会いする機会があり、海の素晴らしさや、海難事故をなくすことなどについてお話を伺ったことも思い出深い出来事です。



そんな、様々な式典やイベントに出演することで、ミス日本という1つの役割を超えて、今度は私がこれらのイベントを企画・実施する側に回りたいという気持ちが漠然と出てきました。

今の会社に就職したのは、そのような考えがあつてのことです。

---近況を教えてください。

現在の主な仕事内容は、クライアントの要望に応えられるように、放送局と連携・協力して番組やCMを作り上げていく仕事です。番組では毎回、有名なアーティストの方やお仕事で繋がった企業の方まで、様々なジャンルの方にご出演いただきます。そうしたお話を聞くことは、いままで知らなかった世界との出会いに満ちていて、忙しくも刺激的な毎日を送らせていただいています。

ゲストのブッキングや台本の企画構成まで、全て自ら行います。広告代理店は基本的には裏方の仕事ですが、このように裏表どちらもできているのは、ミス日本で培った経験があるからこそだと思っています。



4月末には「ミス日本祭り」というミス日本OG有志による記念イベントの副委員長として企画・運営に携わりました。私はミス日本50周年の記念すべき年に、様々な分野で活躍するOGを少しでも知っていただきたいという想いで委員になりました。

前例のない準備は1年間の長期で、準備内容も多岐にわたりました。実行委員の皆さんの意見集約、ゲストや会場の調整、そして金銭の工面など。これらを調整し、実現に向けてひとつに繋がった瞬間は、つよい達成感とやりがいを感じました。

私は「ミス日本での経験」と「今、働いている会社での経験」の両方を、相乗効果で活かすことができたかな、と思っています。ミス日本で学んだ経験は、これからもいろいろなものに応用できると思いますし、ますます経験を重ねたいと思います。

ミス日本祭りでは代表の松本蘭さんを補佐し、調整に奔走。

これからも頂いたミス日本の称号に恥じないように精進して参ります。